

Mizuho Daily Market Report

2023/7/24

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	141.33	141.73	+1.66	+2.93
EUR	1.1129	1.1124	▲0.0006	▲0.0104
AUD	0.6758	0.6729	▲0.0050	▲0.0109
SGD	1.3282	1.3307	+0.0037	+0.0092
CNY	7.1761	7.1876	+0.0080	+0.0456
MYR	4.5587	4.5627	+0.0194	+0.0360
THB	34.41	34.45	+0.46	▲0.17
IDR	15027	15025	+37	+67
PHP	54.74	54.75	+0.22	+0.34
INR	82.01	81.96	▲0.04	▲0.21

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.835%	▲1.5 bp	+0.3 bp
日本(10年)	0.450%	▲1.7 bp	▲3.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.439%	▲1.8 bp	▲4.2 bp
オーストラリア(5年)	3.895%	+4.8 bp	+2.1 bp
シンガポール(5年)	2.995%	+0.9 bp	▲5.1 bp
中国(5年)	2.397%	▲0.3 bp	▲3.5 bp
マレーシア(5年)	3.574%	+2.2 bp	+3.9 bp
タイ(5年)	2.359%	+1.6 bp	+2.6 bp
インドネシア(5年)	5.912%	+1.9 bp	+5.7 bp
フィリピン(5年)	6.140%	+7.5 bp	▲2.9 bp
インド(5年)	7.067%	+0.4 bp	▲0.4 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	35,227.69	+0.0%	+2.1%
N225(日本)	32,304.25	▲0.6%	▲0.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,391.41	+0.4%	▲0.2%
ASX(オーストラリア)	4,182.58	+0.1%	+3.1%
FTSTI(シンガポール)	3,278.30	+0.1%	+0.9%
SSEC(中国)	3,167.75	▲0.1%	▲2.2%
KLSE(マレーシア)	1,413.52	+0.5%	+0.1%
SETI(タイ)	1,529.25	+0.5%	+0.7%
JKSE(インドネシア)	6,880.802	+0.2%	+0.2%
PSE(フィリピン)	6,647.56	+0.5%	+0.3%
SENSEX(インド)	66,684.26	▲1.3%	+0.9%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	276.48	+0.6%	+2.1%
金	1,961.94	▲0.4%	+0.3%
原油(WTI)	77.07	+1.9%	+2.2%
銅	8,422.50	▲0.5%	▲2.8%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	138.50	—	141.00
EUR/USD	1.1160	—	1.1300
AUD/USD	0.6660	—	0.6820
USD/SGD	1.3200	—	1.3300
USD/CNY	7.2200	—	7.2500
USD/MYR	4.5180	—	4.5880
USD/THB	33.90	—	34.30
USD/IDR	14930	—	15080
USD/PHP	54.30	—	54.80
USD/INR	81.80	—	82.45

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は139円台後半の水準で取引を開始。オープン直後は小幅に下落も、M&A絡みと思われるクロス円の買いや仲値で実需の買いが出たことでドル円は浮上。その後も本邦投資家から大口の買いが出て堅調推移。週末前のポジション調整で一旦下押しも、結局アジア時間の高値となる140円台前半まで高値を伸ばし、同水準を維持しクロスした。アジア通貨は対ドルで総じて下落。米新規失業保険申請件数が予想外に減少したことで、連邦準備理事会(FRB)が利上げを継続する可能性があるとの観測が強まった。

海外時間のドル円は、FOMCや日銀金融政策決定会合など複数の注目イベントを来週に控える中、日銀関係者が現時点でYCC修正の必要性乏しいと見ているとの観測報道が伝わり、日銀による政策修正観測が後退し円売りが優勢となり141円台後半まで急伸し、NYオープン。NY時間朝方は米金利が低下する展開を追随し、141円台前半まで下落する展開も見られたが、その後米短期金利が再度上昇する動きに買いで反応し、141円台後半まで反発。NY時間午後は週末を控え値幅が限定的となる中、141円台後半を中心とした高値圏での推移が続く、そのままクロス。

【金利】

米債市場は小幅に金利低下。25、26日にFOMCを控える中、この日は手掛かり材料に乏しく1日を通して小動きに終始。

【予想】

本日ドル円は上値を試す展開を予想。明日のFOMCを皮切りに、ECB、日銀金融政策決定会合と主要中銀イベントを相次ぎ控える週となる。先週末のヘッドラインを受けて日銀金融緩和策への修正観測が急速に後退した一方、FOMCでは1回の利上げが確実視されている状況下、金利差の拡大に着目した円売り・ドル買いの流れが継続するのではなかろうか。

【本日の予定】

(日本) 6月 全国百貨店売上高 / 東京地区百貨店売上高
(日本) 7月 複合PMI(速) / 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(アジア) 6月 NZ 貿易収支
(アジア) 6月 シンガポール CPI
(アジア) 6月 マレーシア CPI
(アジア) 7月 豪 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(欧州) 6月 独 輸入物価指数
(欧州) 6月 西 PPI
(欧州) 7月 ユーロ圏 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(欧州) 7月 仏 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(欧州) 7月 独 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(欧州) 7月 英 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(欧州) 独 国債入札(6M)
(米国) 6月 シカゴ連銀全米活動指数
(米国) 7月 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(米国) 国債入札(2Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。